

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	競技会におけるパラ陸上競技者のパフォーマンス分析
倫理審査委員会承認番号	2024-003
研究開始日	2024年6月11日
研究終了日	2029年3月31日
研究目的	日本パラ陸上競技連盟、世界パラ陸上競技連盟、および国際パラリンピック委員会が主催もしくは共催する競技会（日本選手権、世界選手権、パラリンピック大会など）において、競技会に参加したパラ陸上競技者のパフォーマンスを分析し、その特徴を明らかにすることを目的とする。
研究対象者	・競技会主催者によって分析が承認された競技会においてのみ研究を実施する。・競技会に出場する男女アスリート（競技会あたり男性400人、女性400人程度）を対象とする。・未成年や、同意能力が不十分である可能性のある者（知的障がい有する者など）も対象に含める。
研究概要	パラ陸上競技の競技会におけるJISSの支援活動の中で撮影した映像、もしくは競技会主催者・共催者である日本パラ陸上競技連盟等が独自に取得した映像やデータを活用して、バイオメカニクス的な分析を実施する。トラック種目に関しては、レース中の走速度、ストライド頻度、ストライド長、走（漕）動作などを分析する。フィールド種目に関しては、走幅跳ややり投げにおける助走速度、踏切動作、投てき動作などを分析する。得られた分析指標と競技パフォーマンスとの関係について検討するほか、性別やクラス別でのパフォーマンス比較、競技パフォーマンスの決定要因の検討、世界トップアスリートのパフォーマンスの特徴に関する検討および日本人アスリートとの比較、パフォーマンスの経年的変化とその要因に関する検討を行う。なお、優れたパフォーマンスを発揮したアスリートを研究対象とする場合、研究結果公開に際して競技パフォーマンス等からその個人が特定されうる可能性がある。そのような場合には、該当する研究対象者や代諾を行える親権者等にデータの具体的内容について事前に説明し、データ公開への了承を得る。
研究に用いる情報の種類	競技会において撮影された映像、競技中のアスリートの移動情報（ラップタイム等）、競技成績
情報の提供先	研究対象者（アスリート）、研究対象者が所属する中央競技団体
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	○本研究の資金源は、JISS内予算です。 ○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	松林武生 スポーツ科学研究部門
研究分担者	袴田智子、山辺芳、元永恵子、谷村祐子、永尾雄一、山岸卓樹、景行崇文、門馬怜子、後藤晴彦（以上、スポーツ科学研究部門）、大石益代、鈴木章、笹代純平、柄木田健太、添島予理、田中修二、秋元萌子（以上、スポーツ医学研究部門）、平松竜司（日本パラ陸上競技連盟）、川端浩一（宝塚医療大学）
問合せ先	松林武生 スポーツ科学研究部門 03-5963-0250 takeo.matsubayashi@jpnssport.go.jp